



南風

第206号

発行者
大野城市南地区
コミュニティ
運営協議会
会長 川邊満徳
編集
情報広報部



令和6年度 各部の活動報告

環境安全部 部長 後藤 秀夫

令和6年度は、いっものながら南地区コミュニティ運営協議会が主催する催し物の準備から撤収までの補助の作業を担当させていただき、環境部部長一同は感謝しています。

環境部は各区より選出いただいた15名で構成されています。平均年齢は80歳くらい、手先の細やかな作業には抜群の能力を発揮していただいております。

まつり南風の催しでは竹炭作りを行いました。竹炭作りの工程は、8月下旬牛頸の山を所有されている方の竹林に入り、発芽後2〜3年の硬い竹を50本程度いただき、牛頸の山麓にある炭焼き窯の倉庫で乾燥させて11月に2日間かけて炭作りを実施しました。良い炭はカチカチと高音で綺麗な音が出ます!! なかなか難しい作業でした。できた竹炭は、まつり南風で先着順におおよそ300袋配布いたしました。

当日はナメクジが逃げる不思議な木片や、どんぐりで作るコマや、ヤジロベエなどの昔懐かしい即席のおもちやも作り、皆さんにお持ち帰りいただきました。

スポーツ部 部長 神崎 康則

今年度は、区対抗五目お手玉大会、MADOKAれくスポ祭、区対抗ユニカール大会と予定していた全ての大会を開催することができました。

今後の課題は、区対抗競技参加者の年代の幅を広げること、MADOKAれくスポ祭体験競技の参加者を増やしていくことです。健康的な身体を維持していくためには、適度な運動を欠かすことはできません。運動不足を感じている方にスポーツを始める切っ掛けとなるよう、また、地域の皆さまの交流・親睦の一助となりますように部員一同取り組んでまいります。

福祉部 部長 丸田 忠光

福祉活動を推進するためには、福祉関連団体との連携が重要です。令和6年度のスタートに当たり、6月に「共に生きる豊かな地域社会」と題して福岡県立大学の村山浩一郎教授に特別講演をしていただき、103名の参加者と有意義な交流会を実施できました。

11月は恒例の「南地区番茶の会」を実施しました。75歳以上の独居高齢者の方にご案内をして出席者は116名、前年に引き続き南地区内のホテルを会場にして、出席者の皆さまには大変喜んでいただきました。

令和7年1月には「安全・安心で、元気で活気ある南地区」を実現するため、福祉部として「オーラルフレイル&高齢者の食事について」の講義、誠愛リハビリテーション病院の健康運動指導士より「フレイル予防体操」の指導をしていただき、多くの参加者で大変にぎわいました。

令和6年度の活動を支援していただいた福祉関連団体の皆さま、そして福祉部員の皆さまの積極的な活動に深く感謝致します。

地域振興部 部長 原田 ゆみ子

今年度は、10月に「第1回南つ子すもうフェス」を実施しました。田子ノ浦部屋から3人の力士を招き、大勢の子どもたちとのふれあい相撲や綱引き、記念撮影などのイベントで大いに盛り上がりました。ご協力いただいた皆さまに、お礼申し上げます。

また、南地区の移動交通検討会を11月からスタートしました。大野城市都市計画課から「大野城市公共交通ネットワーク(南地区)の構築について」説明いただくとともに、宗像市のオンデマンドバス「のるーと宗像」と小郡市の「のるーと小郡」について、視察研修・試乗を実施しました。

オンデマンドバスは、AI(人工知能)を活用し、利用者の予約に応じて運行ルートを考えながら走行する乗合交通です。検討会では、南地区の移動交通の問題について、引き続き、幅広く検討を進める予定です。

いきいき健康教室

今回のテーマは「フレイルを予防・改善して元気にすごしましょう」

「フレイル」とは、健康な状態と要介護状態の間にある虚弱状態のこと。フレイル予防には、適度な運動、バランスの良い食事、日光を浴びて心の健康、歯と口の口腔ケアが大切と大野城市健康課の方からお話がありました。

後半は、誠愛リハビリテーション病院 健康運動指導士 上田めぐみ氏の指導の下「楽しく健康寿命をのばす体操」をゲーム感覚で行いました。

参加者は116名。例年よりも男性の参加者が多かったようです。

つつじヶ丘区作品展



牛頸区芸能発表会

平野台区鏡開き(平寿会主催)



新春の浦能区まつり

各区の行事



南ヶ丘1区鏡開き

南っ子カーニバル開催 参加無料

日時: 3月30日(日)10時~12時

場所: 南コミュニティセンター 多目的室

対象: 南地区在住の小学生のみ(申込不要)

※参加者のきょうだいは未就学児でも参加可能
持ってくるもの: 上靴・飲み物(お茶・お水)

ストラックアウト・わなげ・フライングディスク・ひみつの競技に挑戦! 参加賞を用意しています♪